

「信号通信技術交流会」を開催しました

平成29年11月2日
公益財団法人鉄道総合技術研究所

公益財団法人鉄道総合技術研究所（以下、鉄道総研）は、「信号通信技術交流会」を下記により開催いたしましたのでお知らせします。

鉄道総研は、去る平成29年10月25日に信号通信技術に関する研究開発成果、特に開発製品や実用的な研究成果等をご紹介することを目的として「信号通信技術交流会」を開催し、鉄道事業者を中心に33社、117名の方にご来場いただきました。講演会では、信号・情報技術研究部長 川崎邦弘による「信号通信技術の展望」他4件の講演を行い、研究成果と最近の取り組み等についてご紹介いたしました。講演会に続いて6件の研究成果の展示会を行い、パネルや映像等を用いて具体的にご説明し、ご来場者との間で技術的な質疑や今後の展開等に関する意見交換を行いました。

記

1. 開催日時：平成29年10月25日(水) 14時30分から17時30分

2. 場 所：鉄道総研 国立研究所 講堂およびインタラクションスクエア

3. プログラム

●講演会

「開会の挨拶」

事業推進部長

館山 勝

(1) 「クラウド連動構築への取り組み」

信号・情報技術研究部 信号システム研究室 主任研究員（上級）

寺田 夏樹

(2) 「発条転てつ機の不転換防止のためのアシスト装置」

信号・情報技術研究部 信号システム研究室 副主任研究員

潮見 俊輔

(3) 「慣性センサと速度発電機を併用した線路特徴点検出による列車長算出手法」

信号・情報技術研究部 列車制御研究室 研究員

太田 佑貴

(4) 「有線回線における電磁誘導・サージ予測手法」

信号・情報技術研究部 ネットワーク・通信研究室 主任研究員

竹内 恵一

(5) 「信号通信技術の展望」

信号・情報技術研究部長

川崎 邦弘

●ミニセッション（インタラクションスクエア）

(1) 発条転てつ機の不転換防止のためのアシスト装置

(2) 画像式踏切障害物検知装置

(3) 慣性センサと速度発電機を併用した線路特徴点検出による列車長算出手法

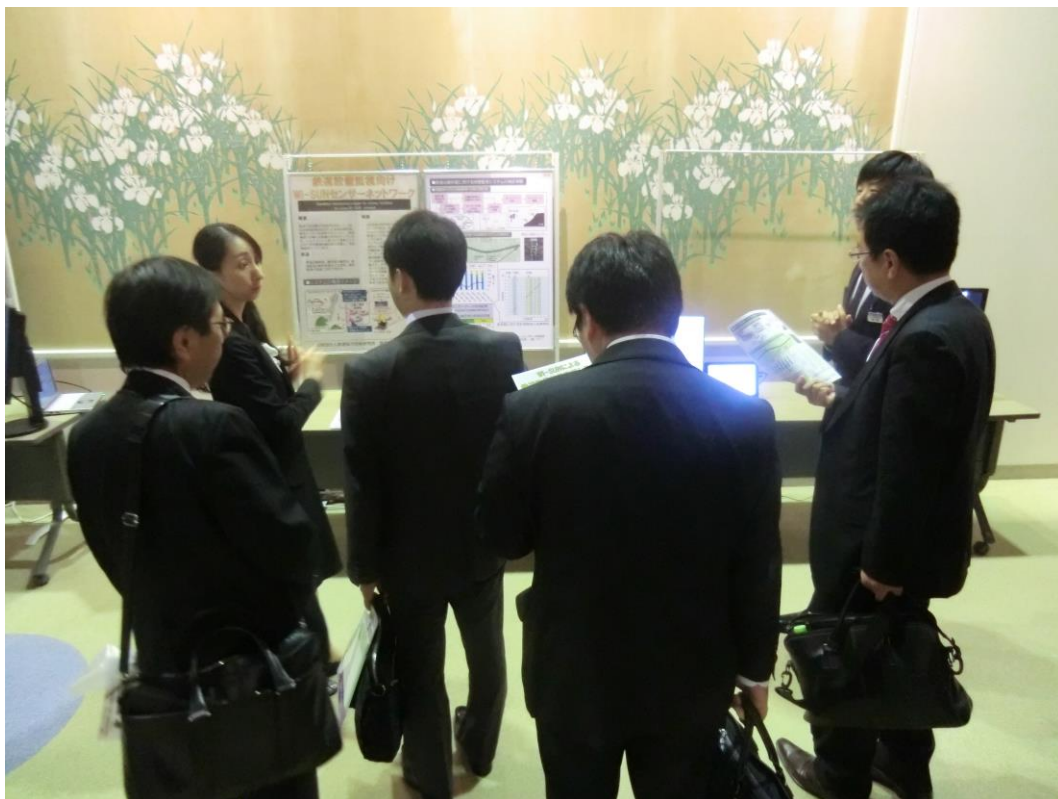
(4) 誘導障害シミュレータ CSIRE

(5) 鉄道設備監視向けWi-SUN センサーネットワーク

(6) 線路座標を活用する鉄道向け高信頼 GNSS 測位計算プログラム



講演会



ミニセッション